



広
報

みささ



今年も元気でありますように



願いをこめて (実盛様)



勤労青少年の日
(7月20日)



国土建設週間
(7月10~16日)

— 住まいと人 —		前月比
世帯数	1,858戸	(-0)
人口	5,104人	(+2)
男	2,361人	(-0)
女	2,743人	(+2)
平成3年6月30日現在)		
発行	愛媛県西宇和郡三崎町 三崎町役場 ☎54-1111 印刷	
編集	総務課	豊豫社



社会を明るくする運動

補正総額8億1千8百74万8千円

6月補正予算

第二回町議会定例会が、六月二十五日開会。平成三年度一般会計補正予算(第一号)など六つの議案が提案され可決されました。

一般会計補正予算は、今年度計画している。普通建設事業のうち、補助金・地方交付税で措置された事業・基金を中心に編成。補正総額八億一千八百七十四万八千円で、累計予算総額は二十七億五千七百四十四千円となりました。

補正の主なもの、基金積立に二億八千五百万円で今回新たに、地域福祉基金・庁舎建設基金がそれぞれ新設された。

又、豊漁祭(七月二十八日)が町、漁協の共催となり一千万円の予算があてられた。一方建設事業では、県営事業の畑地帯総合土地改良事業・農免農道(串地区)などに一億六千二百八十万円余りの負担金。

明神漁港局部改良等に三千三百万円、町営住宅建設費に九千万円、その他道路改良などに九千万円余りが計上された。

ソフト事業では、三崎町観光施設整備計画策定業務委託料として、三百万円が予算化され、二十一世紀へむかう三崎町の指針が示される。

特別会計は、国民健康保険特別会計・土地取得特別会計の二つがそれぞれ提案された。

第1表 一般会計歳入歳出予算額

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
款	補正前の額	補正額	計	款	補正前の額	補正額	計
1 町 税	202,548	0	202,548	1 議 会 費	60,033	544	60,577
2 地方譲与税	26,600	0	26,600	2 総 務 費	415,673	308,017	723,690
3 利子割交付金	10,000	0	10,000	3 民 生 費	222,024	0	222,024
4 自動車取得税	13,000	0	13,000	4 衛 生 費	143,765	0	143,765
5 地方交付税	1,298,240	427,652	1,725,892	6 農 林 本 費	343,604	254,112	597,716
6 交通安全対策金	1	0	1	7 商 工 費	6,710	3,000	9,710
7 分 担 金 及 金	15,350	25,313	40,663	8 土 木 費	80,629	211,833	292,462
8 使 用 料 及 料	12,940	2,493	15,433	9 消 防 費	77,037	8,632	85,669
9 国庫支出金	168,646	97,654	266,300	10 教 育 費	170,129	19,176	189,305
10 県 支 出 金	76,219	67,201	143,420	11 災 害 復 旧 費	25,359	13,434	38,793
11 財 産 収 入	49,071	0	49,071	12 公 債 費	384,393	0	384,393
12 寄 附 金	0	9,484	9,484	13 諸 支 出 金	4,000	0	4,000
13 繰 入 金	101	251	352	14 予 備 費	5,000	0	5,000
14 繰 越 金	20,000	20,000	40,000				
15 諸 収 入	28,840	0	28,840				
16 町 債	16,800	168,700	185,500				
合 計	1,938,356	818,748	2,757,104	合 計	1,938,356	818,748	2,757,104

第2表 国民健康保険特別会計予算額

(単位：千円)

会 計 名	補正前の額	補 正 額	計
事業勘定	579,748	45,892	625,640
施設勘定	708,601	△24,802	683,799
	1,288,349	21,090	1,309,439

第3表 土地取得特別会計予算額 (単位：千円)

補正前の額	補 正 額	計
10,591	25,000	35,591

豊漁祭・町・漁協の共催・予算化

3K打破に

交流会開催

六月十五日(土)午後一時から、農協農事センターで、伊方町・三崎町の生産者交流会が(六十名参加)行われた。

この交流会は、三崎町生産推進班連絡協議会(会長寺岡弥佐夫)と、伊方町農協青壮年部が、情報交換を目的として初めて開催。寺岡会長が交流会開催の動機と参加のお礼を述べたあと、「3K、いわゆる過疎化・高齢化・後継者不足の現状を、打破するために、農業経営の見直しを」とあいさつ。

伊方町からも参加者を代表して、「温州みかん栽培と、晩柑類栽培の差はあっても、農家個々が目ざすものは一つである」と、交流会の意義を説明。

意見発表では、両町それぞれUターン後継者として、農業に意欲を燃やす若者が熱弁。

三年前に故郷三崎に帰り、経営の見直しをし清見90アールを栽培している三崎の山下亀太郎さんは、三崎農業の魅力づくりは、「推進班等の行事はマンネリ化になっている。推進班は農協の小使いでは駄目。農協の農家指導の強化をすべきだ。」など、スルド

イ意見をユーモアを混じえて発表。同交流会は、当初二名津地区の清見園を視察して、話し合いをする日程であったが、雨のため農事センターだけの交流会に変更となったが、意見発表、討論会と時間がたつにつれ、次第に仲間意識ができて懇親会では、各グループの輪の中に農業談話に花が咲き、会場が熱気にあふれていた。



話しがはずむ懇親会

議会だより

六月二十五日、平成三年第二回三崎町議会定例会が招集され一般質問、条例、補正予算などが審議されました。

一般質問

○質問者 田村議員

一、町行政の基本方針について
二、中小企業振興対策について

○質問者 山下議員

一、三崎町直営診療所の運営について

○議案第二十九号

三崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第三十号

三崎町地域福祉基金条例の制定について

○議案第三十一号

三崎町庁舎建設基金条例の制定について

○議案第三十二号

平成三年度三崎町一般会計補正予算(第一号)の制定について

○議案第三十三号

平成三年度三崎町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)の制定について

○議案第三十四号

平成三年度三崎町土地取得特別会計補正予算(第一号)の制定について

血圧が低い・高い

今からできる

体質別健康法

三年度母子寡婦福祉会が六月十五日(土)午前九時四十分より町民会館四階ホールで多数の方が参加し行われました。決算報告の後、八幡浜市の薬剤師、渡辺直美先生が「今からできる体質別健康法について」と題して講演されました。渡辺先生は体質別(血圧など)の食事方法について、具体例や多くのたとえ話を織り交ぜて、身近で分かりやすい話に参加者もメモをとったり、うなずいたり、質問をしたり熱心に聞き入り講演は大変好評でした。

体質別健康食事法

	血が薄い (血圧低い)	血が濃い (血圧高い)
ふくむ	<ul style="list-style-type: none"> ●主食は普通 ●副食は少なく ●塩気を強く ●湯茶を少なく 	<ul style="list-style-type: none"> ●水分多く ●継食 ●塩気少なく ●スープ
	<ul style="list-style-type: none"> ●入浴はまあまあよい ●断食は向かない 	<ul style="list-style-type: none"> ●主食少なく ●野菜多く ●湯茶適量 ●入浴は自由
	●陽も陰も共に食べ過ぎ、飲み過ぎに注意!	
	陰性の肥大	陽性の肥大
ちぢまる	<ul style="list-style-type: none"> ●主食を多く ●副食を陽性に、少なく ●飲み物も陽性に、少なく 	<ul style="list-style-type: none"> ●主食は軟かく ●塩気は少なく ●野菜は適量に ●水分は普通 ●暖かいものをとる
	<ul style="list-style-type: none"> ●入浴はあまり良くない ●断食は向かない 	<ul style="list-style-type: none"> ●入浴は自由
	陰性の萎縮	陽性の萎縮



ユーモアを交え講演する 渡辺先生



熱心に聞き入る

港町「みとさ」

日本一細長い半島の町三崎町
三方を海に囲まれていること
から、港はなくてはならぬ、交
通機関の一部。

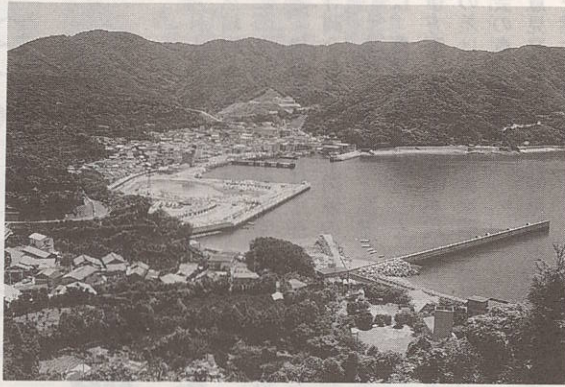
古くは、参勤交代のご座船が
佐田港に着き、藩主や藩士たち
が上陸し二名津湾に回送。豊後
水道を航海したとされている。
又、八幡浜への沿岸航路、九
州の玄関口としても利用され、
港町「みとさ」として脚光を浴
びてきたが、国道一九七号線の
開通や車の普及により、三崎と
八幡浜間の航路は昭和六十年廢

止。

九州を最短で結ぶ国道九四フ
エリー(佐賀関)別府航路の二
航路が残っているのが現状。

第二国土軸が叫ばれる今日、
港町「みとさ」として生き残れ
るかどうかは、今後の取組が
「カギ」を握る。

平成三年度中に完成する、二
千トン級フェリーの発着場がそ
の一翼を担うことが出来るかど
うか注目される。



整備がすすむ三崎港



九四フェリーの発着港三崎

安らぎを念じ

佐田岬観音像建立

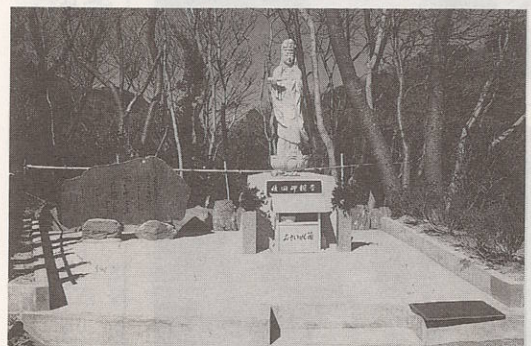
県道佐田岬線の宇和海側(正野小学校附近)に、海を望む観
音像がある。

この観音像は三崎町正野出身の池田多美子さん(現在広島県
旧姓阿部)の善意で、「村民の皆様方の心の安らぎを」と念じ
平成二年九月に建立したもので池田さんの子を忍ぶ歌が半島産
の緑石に刻まれている。

灯台に行く時は一度立ち寄って、安らぎをもとめては……。



池田多美子さんの歌碑



朝日を浴びて海をみつめる
佐田岬観音像

いまもいきる

伝統の技

六月十七日(月)井野浦老人クラ
ブ(会長 池上馨)が秋まつり
用の「わらじ」を作りました。
「ワラ」は宇和町から仕入れ
子供用、大人用あわせて十五足
余りを二時間ほどで作る青年団
関係者の声。

に贈りました。

今年は三年目とあって、編み

方も本格的になり、できあがり

も上々で、履きごこちも良いと

関係者の声。

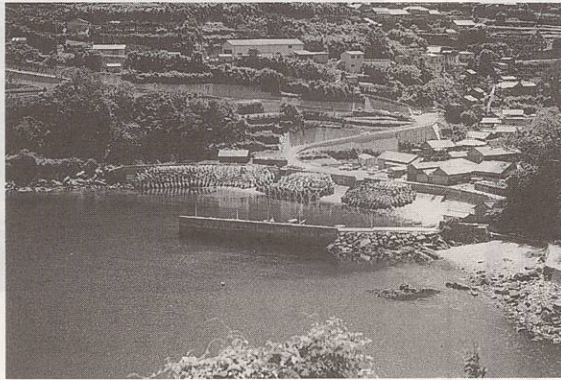


りっぱにできたワラジを手に

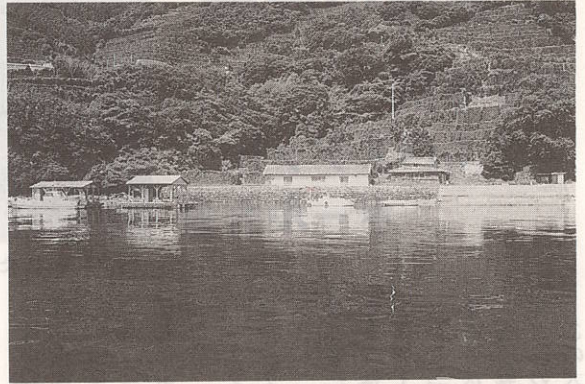


伝統をまもる笑顔

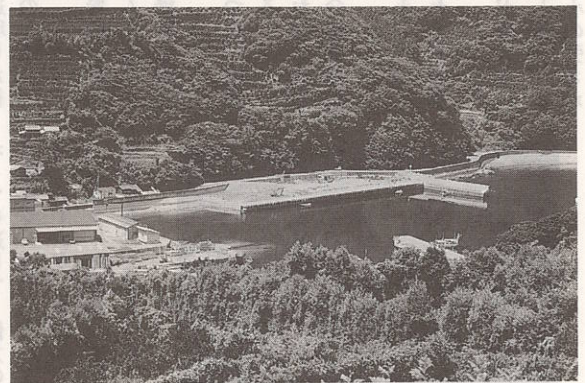
ウォッチング



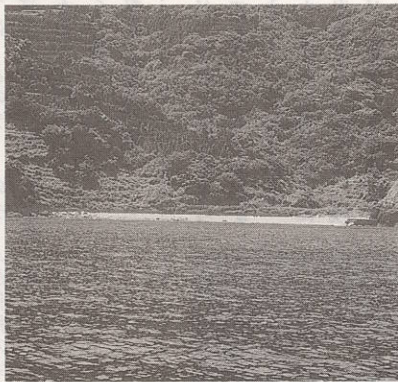
人家も守る釜木漁港



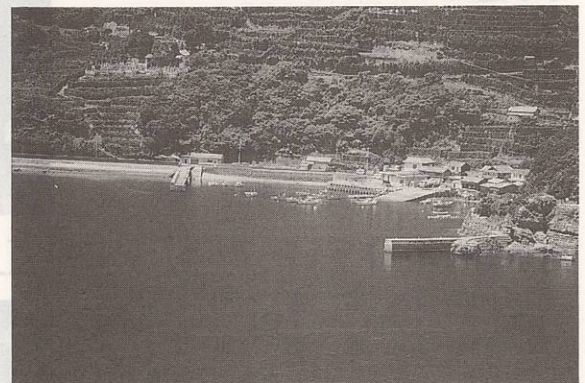
真珠養殖がさかんな平磯漁港



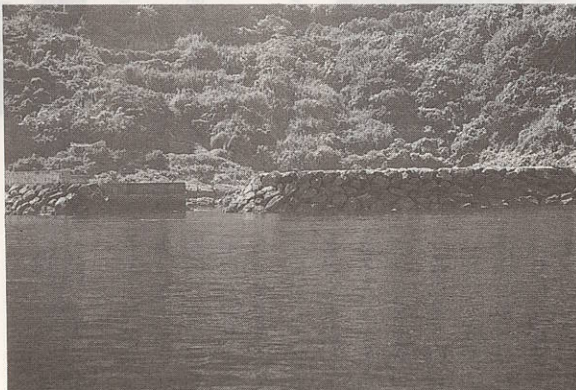
避難港として整備がすすむ二名津漁港



無人化された松(久藤)漁港



二つの漁港をもつ明神漁港



石の防波堤が似合う半田漁港



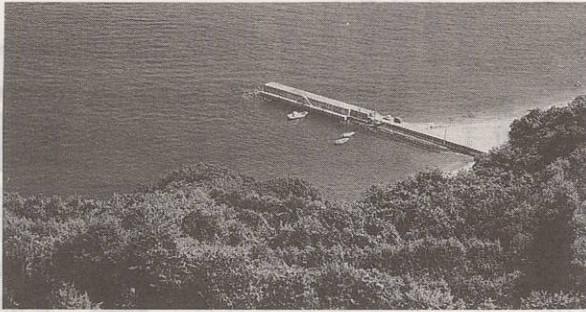
道路が整備され便利になった松漁港

三方を海に囲まれている、本町では、漁船の発着はもとより漁業振興の拠点として漁港は重要な施設です。

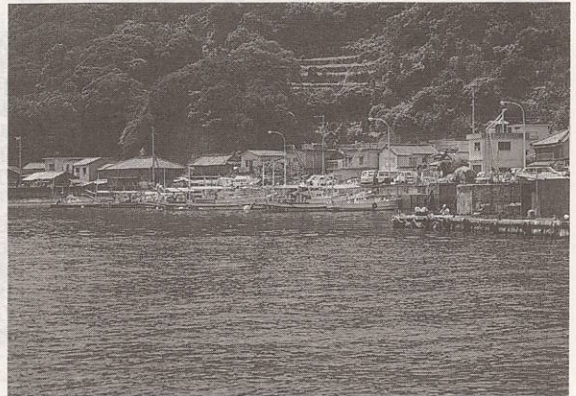
十四集落にはそれぞれ特徴のある漁港が漁船の宿として存在し、整備が進められている。

本町の漁港は、第四種漁港（県管理）と

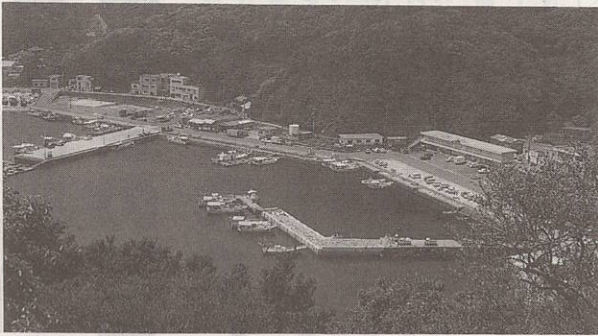
漁港



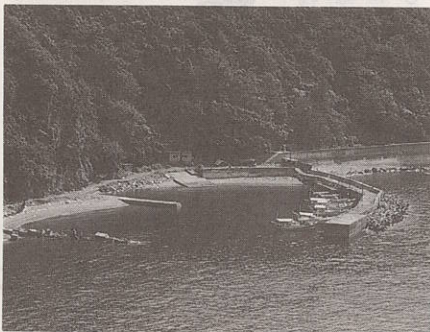
宇和海に面した名取漁港



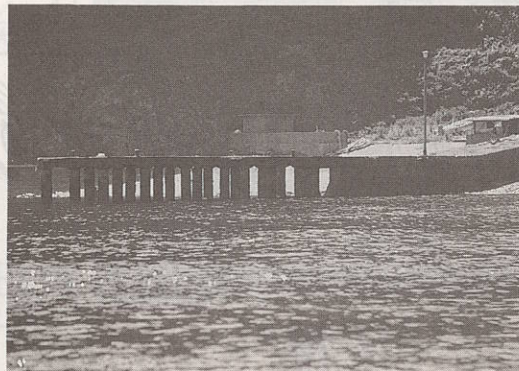
三崎港湾も漁港の役割を（井野浦地区）



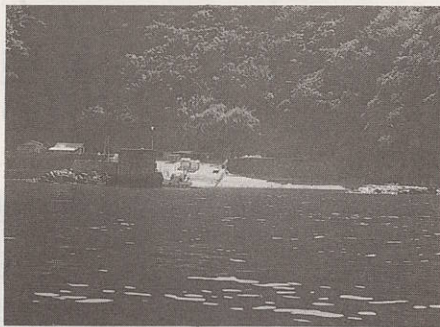
半島一の佐田岬漁港



車の運搬が可能になる長浜漁港



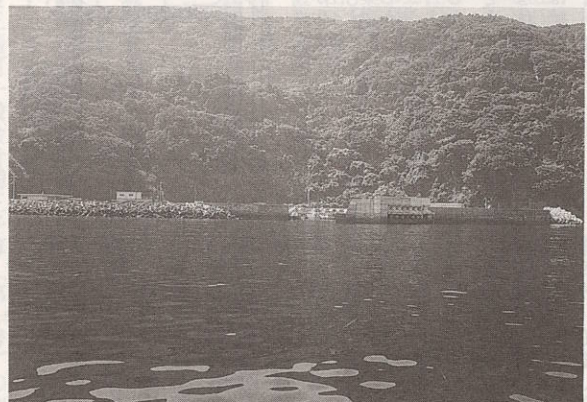
軍鑑漁港と呼ばれている正野谷漁港



影の平漁港



串ツナル漁港



整備がすすむ与修漁港

して佐田岬漁港があり、第一種漁港（町管理）として、名取・釜木・平磯・明神・（明神・二名津）・三崎（与修・半田・ツナル・正野谷・影の平・長浜）松・（松・久藤）がある。

漁港整備は道路と比較すると単位当り事業費が高く、その進捗率は低い。

三崎町に身心障害者

福祉給付金の制度

ができました

この制度は本町の心身障害者に対し福祉給付金を支給して心身障害者の福祉の増進に寄与することを目的に次の方々に給付されます。

身体障害者手帳一級から六級までの方と療育手帳A・Bをお持ちの方で、七月一日現在、本町内に居住し、住民基本台帳に登録され町長が認定した方々に、毎年七月に支給されます。

受給額は次の表のとおりです。へお問い合わせ下さい！

※転入された方で、手帳の届出をしていない方は早急に届出をして下さい。

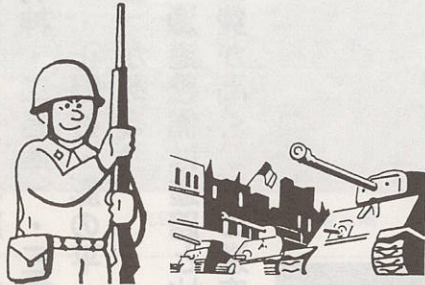
なお詳しくは住民課(福祉係)

受給資格	支給額
身体障害者手帳一級と二級の者	六、〇〇〇円
身体障害者手帳三級と四級の者	五、〇〇〇円
身体障害者手帳五級と六級の者	四、〇〇〇円
療育手帳制度の判定記録Aの者	六、〇〇〇円
療育手帳制度の判定記録Bの者	五、〇〇〇円

自衛官募集

自衛隊では、若人が入隊活躍されることを期待しております。

- 1 応募資格：18歳以上～27歳未満
- 2 身分：特別職国家公務員
- 3 給与：初任給（月額133,900円）
期末、勤勉手当（年3回：合計5.35ヵ月分）の他各種手当が職務や勤務条件によって支給されます。
- 4 衣食住：食事、宿舍費が無料の他、被服等もすべて無料で支給又は貸与されます。
- 5 任期制隊員については、特別退職手当が支給されます。
1任期（2年：陸上）終了時：100日（511,300円）



「さな」を使い
布団すつきり

押し入れにすのこ敷く

晴れた日は開け放し

こんなの
いかが

私の家では梅雨の時期になると、必要なだけの食品しか買わないようにしています。また、もったいないけど、食べ残りは捨てるようにしています。

押し入れにはすべて「さな」を置いて、布団などの下にはすき間がありますので、かびや湿気がなく、いいです。「さな」は、竹を横に並べた稲や麦の穂を落とすのに使う農具です。

佐伯満子 41歳（高知県須崎市吾桑）

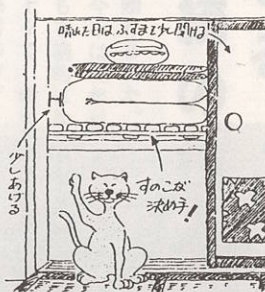
家中ぞうきん
でからぶき

わが家のかび追放作戦

梅雨に入るとめったに晴れない日は、家中を開けてから畳、床、じゅうたんのからぶきをします。特に汚れのひどいところは洗剤を使います。ぞうきんを五、六枚用意し洗濯機で洗い脱水して使います。

風があまりない時は、換気扇を回して戸棚の中なども念入りにつきます。ふだん、掃除機だけですますところを、こまめにぞうきんでふき、なんとなく自己満足しています。

藤原美鈴 37歳（島根県松江市西津田七一四一三八一六）



畳に青かびが生えてしまいました。ふいてもすぐかびが生え悲鳴をあげました。

一昨年に、ほかの部屋と一緒に替えましたが全くかびの心配はなく、さわやかに過ごしました。こんな体験から「畳替えは梅雨前には絶対しないこと」と肝に銘じています。

吉留ミツ子 72歳（福岡県糸島郡志摩町福留）

私は家の中の湿気を追い出すようにしています。台所、居間、応接間と三か所の換気扇の活躍です。畳は少し酢を入れたお湯で、タオルを固く絞ってふきます。押し入れの客布団は上段にすのこを敷き、四方を少し開けておき、晴れた日にふすまを少し開け風を入れるようにしています。新築の家ですので特に気をつけています。

台所は常に換気扇がフル回転、湿気を外に出すようにしています。食器棚を時々開け放し、冷蔵庫は週一度は中身を出して掃除、整理しています。

柳幸子 60歳（群馬県太田市成塚九六八）

梅雨前避ける
畳替えは

数年前に改築して一部屋造りました。完成したのが四月末、続きの二部屋も一緒に畳の表替えをしました。ところが、その年の梅雨期には、特に雨が多く、

近代化へ進む

果樹農業

高浦地区に多目的畑地かんがい施設 完成!

南予用水事業に取り組んで、二十年が過ぎ、水への思いが、
「泡」となりつつあったが、三
崎町にも現実には、水がみかんの
葉にかかり、農業者を喜ばせて
いる。

一方、施設の導入による、デ
メリットも多い。
栽培技術(防風林対策、樹木
作り)の見直し、散布剤、施設
の経費等、直接農家に影響する
事が多いのも確。

高浦地区では、園内道整備も
進み、かんがい施設が平成二年
度完成。
二十ヘクタールの果樹園に、
スプリンクラーが、軽快な水音
をたてて廻っている。

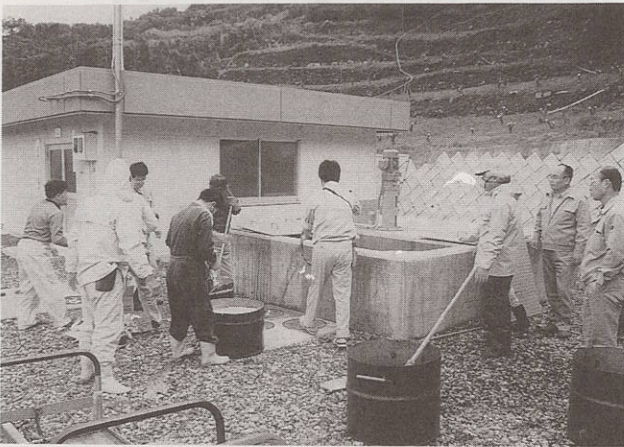
平成三年度は、三崎(瀬平)
地区も自動化施設が完成する予
定であるが、デメリット解消が
三崎農業の生き残れる第一歩で
は……。

同地区の自動化施設(スプリ
ンクラー)は、平成元年度から、
平成二年度の二ケ年で施工。
国営南予用水事業の通水が、
完成されていないため、鉦山の
立坑を利用して水源を確保、共
同防除を実施している。

去る、五月二十日散水試験、
六月四日第一団防除散布、六月
二十七日第二回防除散布と実施。
関係農業(二十六戸)は、「近
代化農業に」と夢をふくらませ
ている。

散布状況が一目で解るシステム。
スイッチ切替をする清水ブロック長。

特に、老令化の農作業(防除)
薬害に対する健康管理等が課
題の果樹農業に、今回の自動化
導入は、三崎町農業の将来を方
向づける。



農業配合の研修を受ける高浦地区第8ブロック防除かん水組



調子は上々、薬害の心配もなくなる

雲仙普賢岳火山災害に助成金おくる。



「まごころ」を送る清家議長
社会福祉協議会長に助成金を渡す。

六月三日に発生した、長崎県、
雲仙普賢岳火砕流による災害にた
いして「ささやかな志」として、
三崎町議会、三崎町職員互助会よ
り、同地区に送金しました。

